



平成28年の新春にあたり

東松島市議会議長 滝 健 一

平成28年の年頭にあたり、東松島市議会を代表して謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、集団移転や災害公営住宅の整備など住宅再建事業が計画の約6割となり、JR仙石線の全線再開、仙石東北ラインの開業など、復旧・復興が大きく進んできました。しかし、震災から5度目の新年を仮設住宅等で迎えられた方々はいまだ多く、一日も早い復興に向けて事業推進に努めなければなりません。

本年は、集団移転として、野蒜ヶ丘では278区画の住宅用地が5月末から順次引き渡され、災害公営住宅は残る406戸のうち236戸の整備を目指しています。また、本年末には宮野森小学校、来年夏には鳴瀬未来中学校が完成予定など、目に見える復興は着実に進むことが強く期待されています。一方、心から復興を実感するには移転後の住民自治や心のケアなど、市民に寄り添った取り組みも一層求められます。特に、第2次総合計画と人口ビジョン・総合戦略が始動する年にあたり、少子高齢化・人口減少社会への対応、産業の振興と雇用創出など、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて重要な年でもあります。

市議会といたしましては、市民の声を市政に反映させるという議会の果たすべき役割と責任の重さを肝に銘じ、引き続き慎重かつ迅速な議論、開かれた議会運営に努めてまいります。

皆様には、今後ともご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたってのごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます



後列左から	古川 泰広	五野井敏夫	五ノ井惣一郎	佐藤 筐子	佐藤 富夫	滝 健一
中列左から	上田 勉	大橋 博之	熱海 重徳	阿部 勝徳	熊谷 昌崇	長谷川 博
前列左から	菅原 節郎	小野 恵章	小野 幸男	木村 清一	阿部としゑ	多田 龍吉